



【診療科トピックス】

# Precision Medicineの実践を！ (2-3面)



[www.takatsuki.jrc.or.jp](http://www.takatsuki.jrc.or.jp)

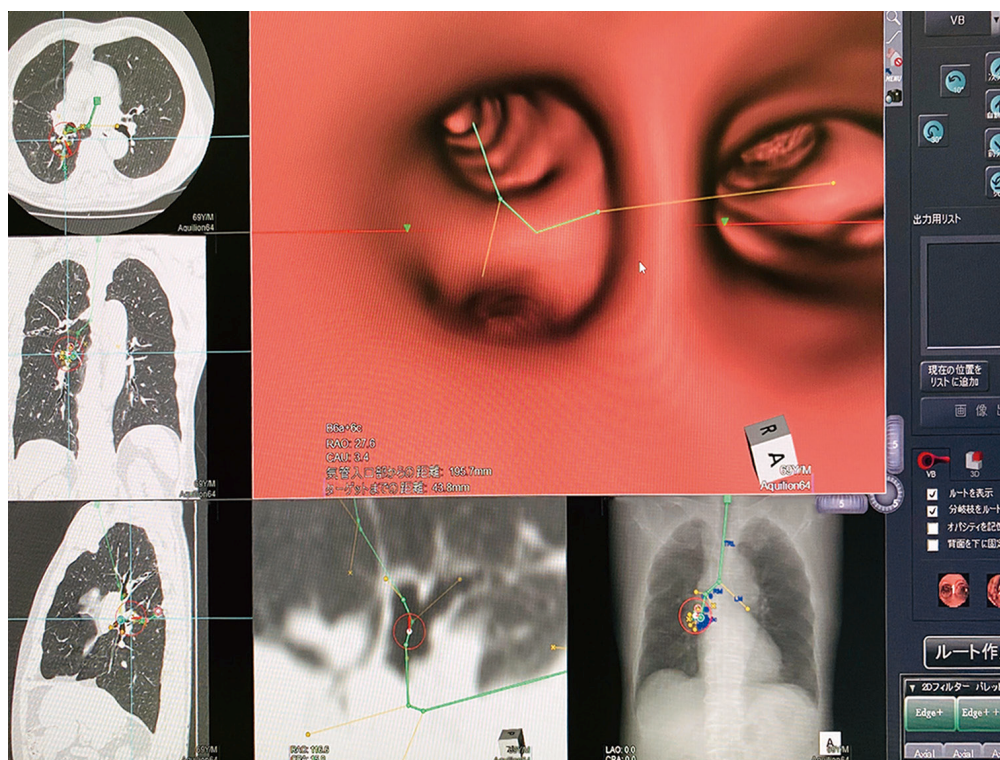


# Precision Medicineの 実践を!

## 肺癌

手術不能／再発の進展型肺癌に対する薬物療法の進歩は著しく、従来の殺細胞性抗がん剤に代わって、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬が近年は治療の中心となっております。ガイドラインに示される標準治療も次々に変更され、それに伴って治療成績も格段に向上し、長期生存も見込める状況となっております。また、昨年度はゲノム医療が保険承認となり、標準治療後、遺伝子パネル検査を行い、癌腫横断的に治療薬を検討していく事も開始されています。組織で遺伝子検査などを行い、有効性の期待できる治療を行っていくというPrecision Medicineが最も進んでいるのが肺癌領域といわれております。

大阪府の地域がん診療拠点病院としてこのような目まぐるしい変化に対応し、常に患者さんにUp to dateな治療を届ける必要があると考えております。また、Precision Medicineにおいて最も重要であるのが適切な組織採取であり、当院でも、気管支鏡検査、CTガイド下生検、胸腔鏡検査、外科的肺生検などを駆使して診断を行っております。その中で最も頻度の高い気管支鏡検査においてはここ数年、回転式透視台や超音波内視鏡の導入など行ってきましたが、今年度は仮想内視鏡によるナビゲーションシステムが導入され、より短時間で精度の高い検査が可能となっております。



仮想気管支鏡によるナビゲーションシステム

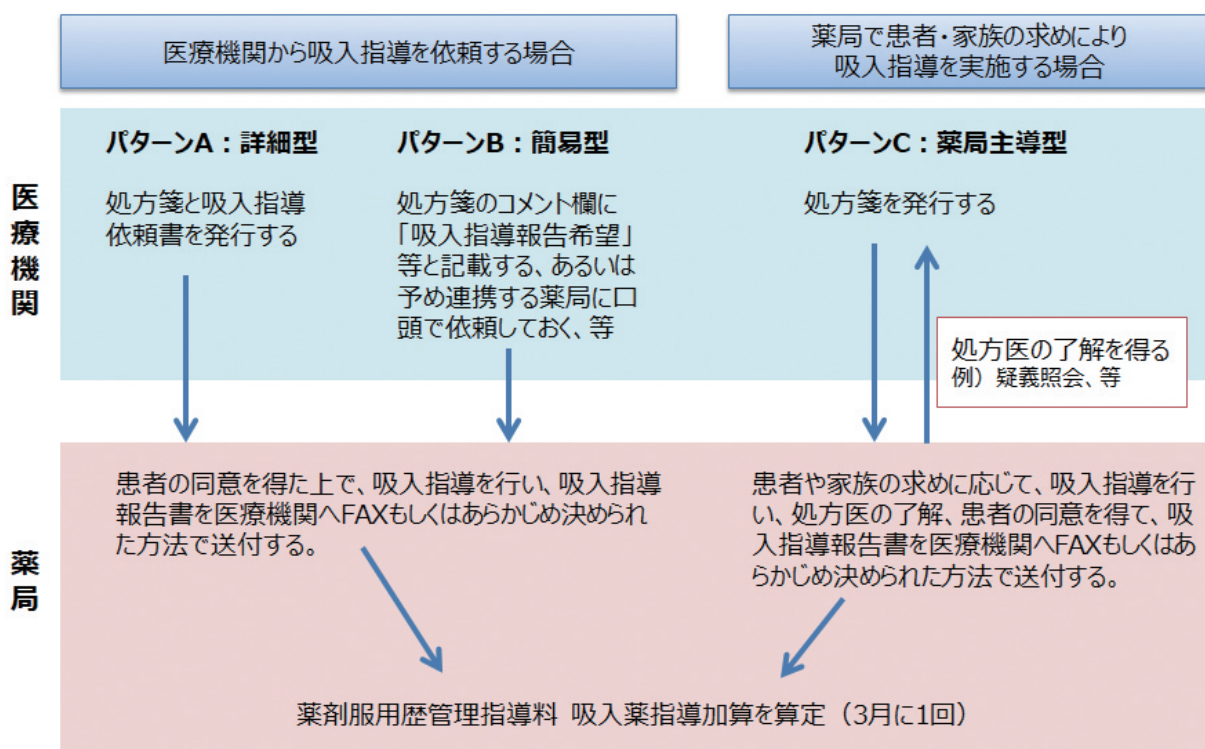
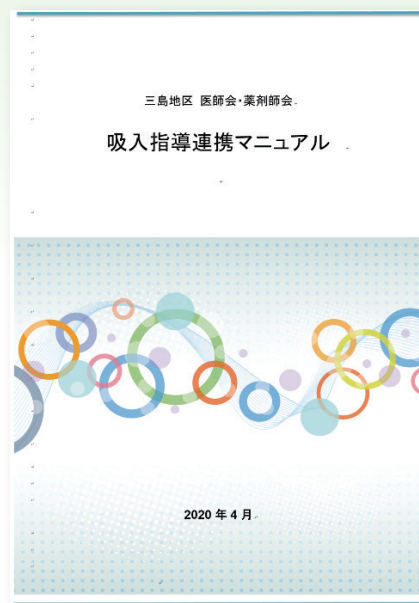
# 三島医療圏全域で共通した 吸入指導連携を!

## 気管支喘息 COPD



気管支喘息、COPD、間質性肺疾患などについては診断時より終末期までUp to dateな治療を心がけています。吸入薬、抗線維化薬など常に最先端の治療を患者さんに届けられるように努めており、特に吸入薬においては当科外来での専門看護師による吸入指導と、調剤薬局との病薬連携による吸入指導を組み合わせ、疾患管理に重要な服薬アドヒランスの維持を達成すべく努力しております。吸入指導連携においては高槻市の他院とも協力し、市内統一した連携システムを構築しておりましたが、この度、茨木市、摂津市も含めた、三島地区で統一した吸入連携薬システムを構築し、広く登録医の先生方にも使用していただければと考えています。2次医療圏で統一した方式は全国でも類のないものと自負しております。

また、呼吸不全で在宅酸素 (HOT) や在宅人工呼吸 (NPV) が考慮されるようになる段階では2週間の呼吸リハビリ入院を行い、その後のフォローも専門看護外来にて行っております (後述)



三島地区 医師会・薬剤師会 吸入指導連携マニュアルより抜粋



# ほっとひといき看護外来は 7年目を迎えました

ほっとひといき看護外来は、2014年5月、呼吸器センターに通院中の方を対象に、病気があっても少しでも快適に、できるだけ望む生活ができるよう支援することを目指して開設しました。それから6年が経ち、多くの患者さんやご家族の支援に関わらせていただき、病気の治療や生活上の困りごとを一緒に悩み、対処を考えてきました。その中で教えていただいた様々な多くのことを糧にして、日々、支援の充実に向けて取り組んでいます。

看護外来では、次のような支援を行っております。どうぞお気軽にご相談ください。

## 在宅酸素療法（HOT）を行う方の療養に関する支援

- ・ 呼吸や病気のしくみ、酸素の役割について
- ・ 毎日の体調管理の方法
- ・ 日常生活で上手くHOTを続ける方法
- ・ 息切れを和らげる呼吸法や動作法
- ・ 酸素の安全管理や緊急・災害時の備え
- ・ HOTによるストレスへのケア など

## 在宅人工呼吸療法（NPPV）や CPAP、気管切開に関するケア

- ・ 呼吸に関する治療法のしくみや役割について
- ・ 治療機器やマスクなどの器具に関する相談
- ・ 病状に応じた日常生活の方法や工夫
- ・ 機器の安全管理や緊急時の対処法 など

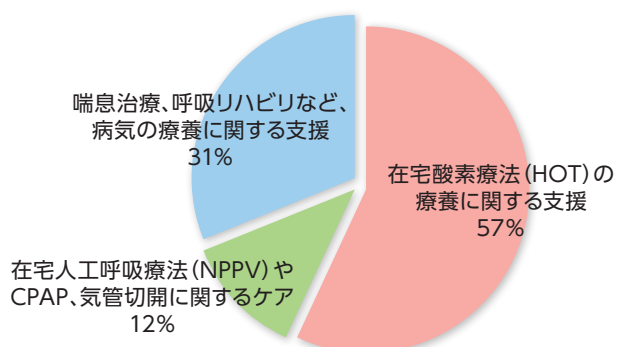


## 呼吸器の病気の療養に関する支援

- ・ 喘息の治療や吸入療法の支援
- ・ 呼吸リハビリテーションや呼吸法について
- ・ 呼吸器の病気や治療に関する情報提供
- ・ 在宅での療養や介護に関する相談 など



## 看護外来での支援の概要 (2014～2019年度 延べ5292件)



患者さんやご家族の方が、「ほっと、ひといき」安心して、また明日から頑張っていこうと思っただけのような外来でありたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。







麻酔科・手術部長 **澤井 俊幸** さわい としゆき

## 麻酔科・手術部長に就任して

この度、2020年1月1日付で麻酔科・手術部長を拝命いたしました。1998年大阪医科大学卒業し、大阪医科大学附属病院と高槻赤十字病院麻酔科で研修を行いました。2000年より2年半ほど国立循環器病研究センター麻酔科でレジデントとして研修し、2002年から大阪医科大学麻酔科で17年半お世話になりました。高槻赤十字病院は研修時代に勤務させていただいた思い出のある病院の上、奇しくも現高槻赤十字病院長の古川福実先生は広島大学附属高校の大先輩にあたり、不思議なご縁があるのかな…と感じております。私の専門は循環器関連の麻酔ですが、麻酔を施行するうえで必ず関わる臓器なので、麻酔の分野を問わず安全で快適な医療が提供できればと考えて日々精進するように努力してまいります。そのためにも、まずは自分自身の健康のため（循環器老化防止のため？ 趣味でもあります…）片道30分の自転車通勤を行っています。病院に到着したときは汗だくですが、少し早めに出勤してクールダウンするようにしています。高槻赤十字病院及び地域医療への貢献を目指し、将来的には赤十字社の災害支援等にお役に立てればと考えておりますので、皆様のご指導・ご支援のほどよろしくお願いいたします。



整形外科部長 **徳山 文人** とくやま ふみと

## 整形外科部長に就任して

この4月に整形外科部長を拝命いたしました徳山文人です。私は平成6年に大阪医科大学を卒業して同年母校の整形外科教室に入局し、以降関連病院への出向や大学病院で助手（現在の助教）を務めたのち、高槻赤十字病院には平成18年4月に赴任いたしました。以来脊椎疾患を中心に診療を行なって参りました。社会の高齢化が進む中、脊椎疾患（頰椎症、腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）に悩まされる患者様は増加しており、「痛い」、「歩けない」などの症状に対して各種薬物療法や注射によるブロック療法、それでも改善しない場合には手術療法を行っております。これらの治療法は専門的な立場からのアドバイスに加え、患者様の症状に合わせて相談をしながら選択していただいております。患者様目線で治療を行っているというのが当科の特色です。手術は内視鏡を用いた小侵襲手術（数日～1週間程度入院）から金属インプラントを使用した脊椎固定術などまで幅広く行っております。

整形外科は現在4名で運営しており、伊丹副部長は肩、肘関節などの上肢疾患を専門とし、若く優秀な吉村、伊藤両医師は骨折などの外傷疾患を中心に多くの症例を担当しています。また非常勤医師の協力により膝、股関節手術も行い、より幅広く地域の皆様ニーズにお応えするため頑張っております。今後も皆様の健康を守るべく邁進して参りますので、整形外科疾患でお困りの際には是非当科を受診していただきますようお願いを申し上げます。



地域医療連携機関として登録をいただいている医院をご紹介します。  
今後も各先生方との連携を深め、地域住民の皆様の健康を支えていきたいと思ひます。

## 登録医療機関のご紹介

# 渡部眼科高槻クリニック

〒569-0804 大阪府高槻市紺屋町1-1 グリーンプラザたかつき1号館 5階  
TEL: 072-686-5535



## ◎院長 三好 淳一郎 先生からのメッセージ

皆様、初めまして。渡部眼科高槻クリニック院長の三好淳一郎と申します。

私はこれまで主に和歌山、京都、高知で眼科診療に関して研鑽を積んでまいりました。

この度ご縁があり、2019年4月にここ高槻市で開業するに至りました。当院は皆様の利便性を考慮し日曜、祝日も通常通り診療しております。(年末年始、お盆、GWの休診日設定あり。詳しくはホームページを参照ください。)また仕事帰りの方々もご利用いただけるよう平日は19時まで、土日祝は18時半まで診療しております。

白内障、緑内障、糖尿病網膜症などは適切な治療時期を逃さないよう定期診察が重要です。眼に関して心配事がございましたらお気軽にご相談ください。

今回、迅速に適切な医療を提供するべく高槻赤十字病院と医療連携させて頂きました。より一層地域の皆様の医療ニーズに応えることができるよう励んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

三好 淳一郎院長

## 診療科 眼科

### 【診療時間】

|             | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日/祝 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|-----|
| 9:30~12:30  | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○   |
| 15:00~19:00 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | △ | △   |

※眼鏡・コンタクトレンズが初めての方は受付終了時間の60分前までにお越しください。

※祝日の水曜日、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆は休診です。

△…土日祝午後は、14:30~18:30

★…平日の15:00~16:00は  
予約優先制となります。

【休診日】水曜日

## 登録医療機関のご紹介

# みなみクリニック

〒562-0023 大阪府箕面市栗生間谷西1丁目1-12 TEL: 072-671-7300

## ◎院長 南 崇史 先生からのメッセージ

はじめまして。このたび、箕面市の栗生間谷に開業いたしました、みなみクリニック院長の南 崇史(みなみ たかふみ)と申します。

これまで私は、地域の中核病院である市民病院やアレルギーの専門機関で、一般内科や呼吸器・アレルギーの診療に携わってきました。そして、より地域に密着した医療や予防医学ができればと思い、このたび、大学卒業以来内科医として働き、慣れ親しんできたこの北摂の地で、開業させていただきました。

地域の皆様おひとりおひとりの方に「やさしい医療」を提供できるよう、箕面の地に根を張り、日々研鑽を積んでいきます。どんな些細なことでも結構ですので、お気軽にご相談ください。今後ともよろしくお願いいたします。

## みなみクリニック



南 崇史院長 南 朋子医師

当院では、2名の内科専門医が診察をしておりますので、かぜや胃腸炎、生活習慣病などを含めた内科全般の病気に関してご相談いただけます。南 崇史 医師(院長)は、特に呼吸器の病気やアレルギーの診療も可能です。南 朋子 医師は、糖尿病や甲状腺の病気を専門としております。また、女性医師でもありますので、女性の方でも安心して診療を受けていただけます。希望される方は遠慮なく、受付でお申しつけください。

2人が同時に診察しております月曜日と水曜日に関しては、お待たせする時間も比較的短いです。(南 崇史院長は、すべての診療時間において診療しております。)

## 診療科 内科・呼吸器内科・糖尿病内科・アレルギー科

### 【診療時間】南 崇史 院長

|             | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~13:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 14:00~17:00 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × |
| 17:00~19:30 | × | ○ | × | × | ○ | × |

【休診日】木・土曜日午後、日曜日、祝日

### 【診療時間】南 朋子 医師

|             | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~13:00  | ○ | × | ○ | × | × | × |
| 14:00~16:00 | ○ | × | ○ | × | × | × |

【休診日】火・木・金・土・日曜日、祝日

# 高槻市営バス シャトルバスの運行について

## 高槻市営バス管理者ご挨拶



高槻市自動車運送事業管理者  
西岡 博史

平素は、高槻市営バスをご利用いただき、誠にありがとうございます御座います。

さて、2017年9月より運行している、JR摂津富田駅から日赤病院までのシャトルバスですが、一昨年の6月にはJR総持寺駅の開業もあり、運行経路の変更や便数も増やしながら現在に至っています。

従来、わたしも市営バスでは、駅から日赤病院に行く路線を運行していますが、来院される患者様の移動をより快適にできないかという病院からのご依頼を受けて、全員が着席できる仕様の車両を使って、病院の入り口付近までドアツードアで行けるシャトルバスの運行を開始しました。

バスの利用者数は時間とともに認知が進んだこともあり、当初の約3倍と順調に推移していますが、今後も、皆さんにこのバスを育てていただきますよう、益々のご利用をお待ちしています。

## ～ 私たちが安全にお運びします ～

乗務員から  
ひとこと



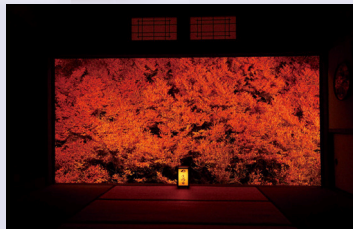
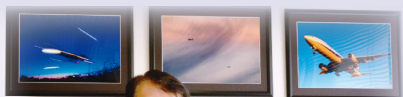
- ◎お客様が着席されるまで発車しませんので、ゆっくりご乗車ください。
- ◎手押し車は持ち込んでいただけますので、遠慮なくご乗車ください。
- ◎シャトルバスをご利用されるお客様のマナーが良く、とても感謝しています。
- ◎これからも安全に気を付けて運転させていただきます。



※シャトルバスの時刻表、発着場所等はホームページ (<http://www.takatsuki.jrc.or.jp>) をご覧ください。



## 〈井上クリニック〉 井上裕之先生 訪問インタビュー



高槻市医師会に美術・写真クラブが約2年前に発足され、同部に参加されたことが契機で、写真撮影に興味を持つようになったそうです。プロカメラマンの因幡雅文先生の指導の下、座学や年4〜5回の撮影会を通し、カメラの使いこなし方や構図設定の基本などを教えていただいているとのこと。またクラブでの撮影会以外にも、時間を作っては撮影に出掛けられるそうです。



当院ギャラリーコーナーに展示した『樹齢150年のドウダンツツジの紅葉』は、公開終了前日の但馬安国寺（兵庫県豊岡市）に午前診療終了後に、片道2時間半を掛けて撮影した写真です。その甲斐あって、燃えるようで幻想的な紅葉は、あたかも座敷奥に掲げられた絵画を見ているような作品に仕上げられています。

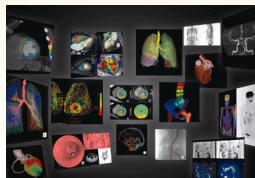
写真はその瞬間のためにじっとその場でタイミングを待つことも大事だし、偶然の一瞬に遭遇することもある。それらの瞬間を画に留めるため、まだまだ勉強中とのこと。真摯な姿勢で写真撮影の奥深さを楽しんでいる様子をお伺いすることが出来ました。



①ハンフリーフィールドアナライザー

## ありがとうございました。-2019年のご寄付-

みなさまから2019年にいただきました寄付金により、下記の医療機器を整備することができました。厚く御礼申し上げます。



②ザイオステーション2

**<寄付金総額>18,415,489円**

**(法人4団体) (個人34名)**

記

①ハンフリーフィールドアナライザー

②ザイオステーション2

機器の  
説明

- ①眼科の視野検査時に使用する。視標は動かず、固定された視標の輝度を変化させて感度を測定する装置。自覚症状にない初期の段階での小さい異常を調べる事ができ、初期視野が狭くなる緑内障や、網膜疾患・脳血管障害の視野異常を検出しやすく、視野異常の早期発見、早期治療に対応できる。
- ②3D医用画像処理ワークステーション。正確な診断を導く解析と治療効率を高める正確な計測ができ、さまざまな診療科で役立つ高度な画像解析が行える。

## 『令和元年度 高槻赤十字病院 地域連携の会』開催のご報告

地域医療連携課 大迫 明子



2月に当院と地域の医療機関の先生との情報共有の場である「高槻赤十字病院 地域連携の会」をホテルグランヴィア京都にて行いました。91名の方々にご参加いただきました。

第一部の講演会では、小児科片山部長より「小児循環器領域の移行期医療について」、消化器外科恒松部長より「より低侵襲な手術を目指して」以上、2演題を講演いただきました。

また第二部の懇親会では日頃の相談やご紹介いただいた患者さまの治療についてなど直接話ができて有意義な時間を過ごしていただきました。

今後も登録医の先生方、近隣病院の先生方、医療従事者の方々と引き続き連携を強化し、地域の方々に安心して医療を受けていただけるように努めていきます。

### 高槻赤十字病院の理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神に基づき、高度で安全な医療を提供し、地域の人々が誇りにする病院となるよう努めます。

### 高槻赤十字病院の方針

1. 患者さんの人権と意思を尊重し、患者さん中心の医療をおこないます。
2. 一人ひとりの患者さんを全職員が支援する、チーム医療をおこないます。
3. 患者さんのホームドクターと緊密に連携し、地域で完結する医療をおこないます。
4. 常に向上心と研究心を持ち、最高最善の医療が実現できるように努めます。
5. 健全な病院経営と地域に貢献できる医療従事者の育成に努めます。
6. 災害救護活動をはじめとする赤十字に課せられた使命を果たします。



日本赤十字社 高槻赤十字病院  
Japanese Red Cross Society

〒569-1096 大阪府高槻市阿武野1-1-1  
TEL 072-696-0571 (代表)  
URL: <http://www.takatsuki.jrc.or.jp>  
発行責任者 事務部長 松田 好正